



茶内小だより

茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

「子どものよさを良く見つめて」

校長 飯屋崎 修

最近曇り空が多く、天気の変化が激しい日が続いていましたが、ようやく茶内らしい暖かい日もあり、確実に夏が近づいています。地域の方々には、子供たちが登校する学校前の歩道沿いに、かわいい花を植えていただいたり、公園の遊具の塗装もしていただきました。どちらも子供たちが毎日目にする所であり、これから安全に気をつけながら、外で元気に遊ぶ姿が楽しみです。子供たちの育ちを支えて下さっていることに感謝いたします。

さて、長い休業期間が続いた後、6月1日からの通常登校。子供たちはこれまでの学校生活を取り戻すかのように、学習や諸活動に一生懸命取り組んでいます。遅刻や欠席することもなく、登校時刻10分前には元気に登校してくる姿、学習用具の忘れ物もありません。天気の状態を見て、しっかり傘や雨合羽を持たせてくれるなど保護者の皆様には、大変感謝しております。今後も学校と家庭が連携し子どもの姿をよく見つめ、成長したところはほめ、もう少しのところは励まし、さらに確かな力と心を育てていきたいと思ひます。

ところで、子どもの心を育て、力を伸ばすためには、どうすればよいのでしょうか。私は子ども一人一人に「自信」をつけてあげることが大切だと思います。子どもたち一人ひとり、その時その時で自分の力を精いっぱい出して頑張っているはずです。その結果として、身に付き、できるようになったことがたくさんあるのではないのでしょうか。でも、時には、結果としてなかなか表れてこないことや失敗もあります。どうも後者のほうが、目に付いてつい叱ってしまうことが多くなってしまいがちですが、子どもの姿をよく見つめ、どんな小さなよさも、認め、ほめてやることで「自信」につなげていきたいものです。

多胡 輝氏は、ある著書の中で「ほめるときこそ、真剣に具体的に、なぜいのかを話すべきだ。」そして、「ほめる子育てがうまくいけば、子どもを叱る機会はずっと減るから、ほめることに真剣に手間をかけても決して損はしない。」「人間にとってほめるという行為は実に美しい人生の知恵だ。それは、相手に無限の力を与えるからだ。」と言っています。さらに、「ほめる知恵」として、述べている項目をいくつかあげると、

- ありのままの子どもを受け入れれば、いいところはいくらでも見つかる。
- 思ってもいないことをほめられると、自信は倍増する。
- 簡単なこと、当たり前なことほど、一生懸命やったらほめてあげる。
- 何事も、少しでも成果が上がったらほめてあげる。
- 子どもの小さな発見に共感してあげるのも、良いほめ方。

などです。ほめることは子どもを肯定すること、叱ることは子どもを否定することから出発することではないでしょうか。もちろん、子どもの行いによっては、厳しく、しっかりと叱らなければならないこともあります。しかし、ほめることは、子どもに「自信」をもたせることにつながっていくと考えるならば、大人が、子どもの姿をよく見つめ、子どもがよりよく成長し、自立していくための「ほめる知恵」を多く持ち備えていきたいものと考えます。

日常の教育活動につきましては、学校ホームページをご覧ください。



<https://www.townhamanaka.jp/chanais/ho/index.html>



理科：モンシロチョウの卵はあるかな？



算数科「10はいくつといくつ」：わかるよ！先生！



生活科「学校探検」：たんけん、がんばったね！

7月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	水	参観日(4学年) みんなの広場
2	木	参観日(3学年) PTA役員会
3	金	参観日(5学年)
4	土	
5	日	
6	月	参観日(6学年)
7	火	保護者アンケートメール配信
8	水	避難訓練(火災想定)
9	木	
10	金	児童委員会
11	土	
12	日	
13	月	Q-U・いじめアンケート
14	火	児童個人面談(~22日)
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	(茶中地域参観日)
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	教職員健康診断のため臨時休校
30	木	
31	金	クラブ

今年より「安心安全メール」で保護者アンケートの集約をいたします。ご協力をお願いします。



夏休みまで、朝学習の時間に、グラウンドで、「朝の全校ラジオ体操」を行います。

【夏季休業期間の変更】(お知らせ済み)
 8月8日(土)~8月17日(月)
 2学期始業式 8月18日(火)
 ※授業時間確保のため変更になっています。

ありがとうございます

地域の方から扇風機を7台も寄贈していただきました。さっそく組み立てて、各学級に1台ずつ設置しました。涼しい風だけでなく、教室換気にもとても役に立っています。

夏の茶内は暑くなりますから、本当にありがたい贈り物でした。大切に使用させていただきます。

また、新川町内会婦人部より、雑巾の寄贈がありました。学校では、児童の下校後に消毒作業を毎日実施していますので、大変助かります。

ありがとうございました。



セルフコントロールを

6月の学校再開から担任外の教職員で、健康観察と検温状況のチェックを継続してきました。子どもたちの多くが自分の体温をしっかりと報告できている状況が続いていましたので、6月22日(月)からは、検温状況の再確認をやめました。

子どもたちは玄関先に立っている教職員と目が合うと、あいさつをして体温の報告をしてくれる子もいます。そして、アルコール消毒をして入校します。登校前の検温やマスク着用等について、お子様に声をかけてくださっていることに大変感謝しております。

また、測ってきていない子もモジモジしながら「測っていないので測ってください」と言います。自宅で検温して登校することが正しいのですが、測り忘れたとしても、お願いすることができるのも大切な力のひとつです。

社会として、学校として取り組んでいることを意識して生活できている茶内小の子どもたち。まだまだ先が見えない状況ではありますが、感染予防の意識をもち、楽しく学校生活を送ることができるよう取り組んで参ります。今後も、ご協力をお願いいたします。



町が大すきたんけんたい！

2年生は、1年生との学校探検を終え、茶内の町探検に出かけました。子どもたちは、探検が大好きです。普段、登下校で歩いていたり、買い物で通ったりしていますが、意外と見えていないことがあります。この学習で、地域のことをさらに知り、働いている人に出会えます。もっともっと茶内の町のことが好きになれるよう地域の皆様にもご協力いただく場面があるかもしれません。その時は、よろしくお願いいたします。



湿原学習がはじまる



琵琶瀬展望台から霧多布湿原を一望し、その後、普段はなかなか立ち入ることができない場所にガイドに案内をしてもらって学習しました。

湿原の草花や生き物を見つけました。もう一度詳しく見たい。話をもっと聞きたい。友だちが調べたことを知りたい。みんなでできることは何だろう。このような学びができるよう、せつかく近くにある大自然ですから、何度も何度も働きかけてほしいです。

「主体的」を大切にして



学習活動を設定するにあたって、コロナ禍で多くの規制がありますが、茶小教職員の今年の授業づくりのテーマは「主体的」です。学びたくなるような教材提示、友だちに考えを伝えたいような場の設定等「子どもが…」が貫かれるということです。

この日は、北海道教育庁釧路教育局より指導主事を、浜中町教育委員会より指導室長をお招きし、研修部長の清水先生が4年生算数科の学習を公開しました。4年生の積極的に学ぶ姿が大変立派でした。

